

経営比較分析表

長野県 千曲市

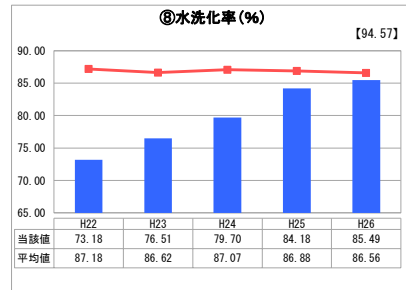
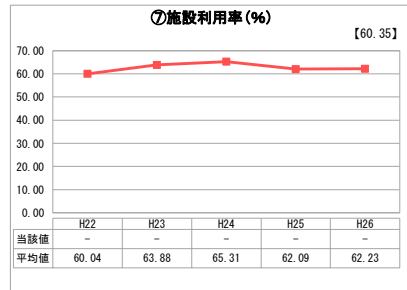
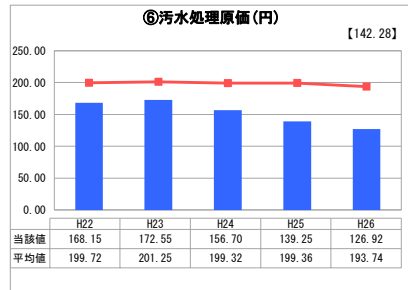
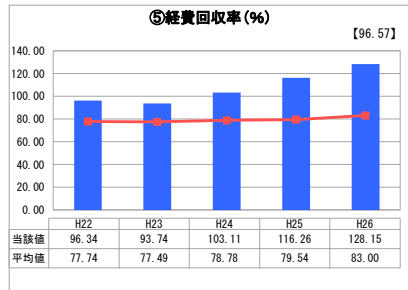
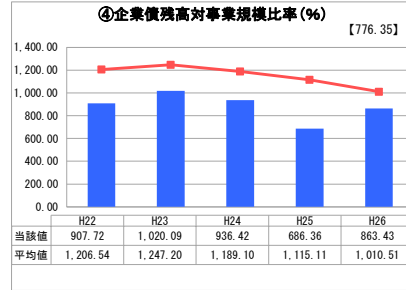
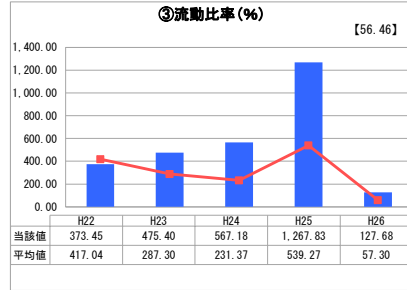
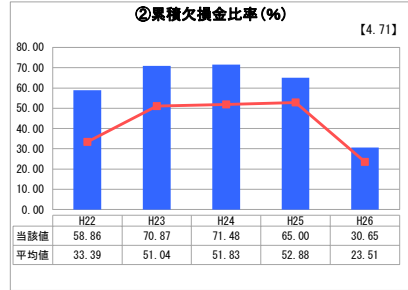
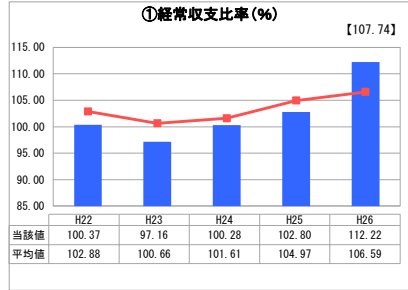
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
-	40.58	91.71	100.00	3,186

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
61,861	119.79	516.41
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
56,598	20.28	2,790.83

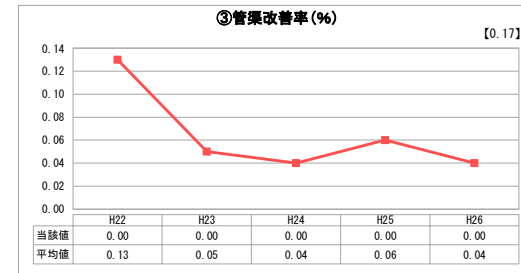
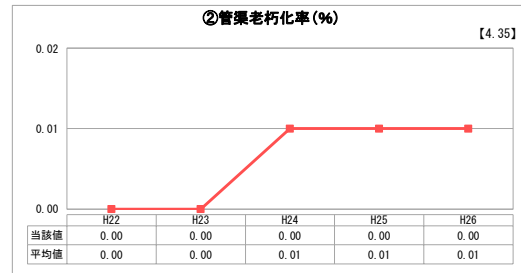
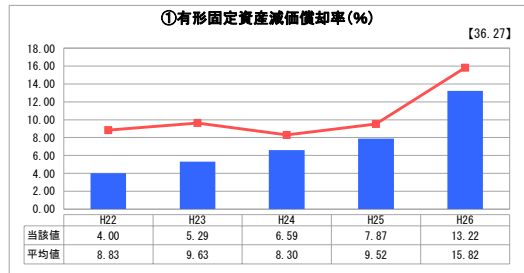
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析概

1. 経営の健全性・効率性について

H23年度経常収支比率が100%を割り経常損失が生じましたが、その後、使用料収入の増加や損益勘定職員削減等費用の削減に努め改善を図りました。累積欠損金比率はH26年度に過去最高の純利益が生じ大幅に改善されました。今後も経営の健全化を図り当該指標0%となるよう努めていきます。

流動比率は多額の現金を保有していることにより、流動資産が流動負債を大きく上回っていましたが、H26年度地方公営企業法改正に伴い企業債の一部が流動負債に計上され数値が大きく変動しました。全国及び類似団体平均値を大きく上回っており適切な水準となっています。

企業債残高対事業規模比率は「企業債残高のうち公費負担金額」の増減により数値が変動しているものの、類似団体より低い状況にあり適切な水準となっています。

経費回収率は下水道使用料収入の増加や汚水処理費の削減によりH24年度以降改善が図られています。

汚水処理原価は汚水処理費の減少及び有収水量の増加に伴い改善が図られ、全国及び類似団体平均値を下回り適切な水準となっています。

施設利用率は処理施設がなく該当ありません。水洗化率は年々上昇しているものの全国及び類似団体平均値を下回っているため、さらなる接続率の向上に努めていきます。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は比較的施設が新しく資産の老朽化度は低い状況といえます。

管渠老朽化率及び管渠改善率は施設が新しく、「法定耐用年数を経過した管渠延長」「改善管渠延長」がそれぞれないことから0%となっています。

全体概括

今後、さらなる水洗化率の向上に努め、大口使用者の接続促進を強化するなど有収水量の増加に取り組むとともに、徴収業務の民間委託等経費削減の可能性を検証し経営の健全化を図っていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。
 ※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。